

電子計算機 II

マイクロコンピュータ H8/3048 のアーキテクチャとアセンブリ言語 2014 担当 *coskx*

CPU は H8/3048fone を用いる。

1. モニタプログラムによるアセンブリ言語プログラム (1)

ROM 領域にモニタプログラムを配置し、テストプログラムは RAM 領域において実行する。

[akih83048mon5A.html](#)

[akih83048mon5B.html](#)

2. C プログラムをアセンブリ言語プログラムに変換

C プログラムをアセンブリ言語プログラムに変換してアセンブリプログラムでカンニング。

[c2asm.html](#)

3. モニタプログラムによるアセンブリ言語プログラム (2)

[akih83048mon5C.html](#)

4. C プログラムで用いるスタートルーチン

C プログラムで用いるスタートルーチンの役割を学ぶ

リンカスクリプトの役割を学ぶ

[startupstudy.html](#)

5. タスク切り替え入門

原始的なタスク切り替えについて学び、OS によるマルチタスクの原理を学ぶ

リンカスクリプトの役割を学ぶ

[taskswitch.html](#)

6. レポート提出

レポートは txt ファイルで、kosaka002 での Web 提出とする。(txt ファイルで提出のこと)

レポートのフォーマットは後掲の例を参考にしなさい。

7. 成績

中間試験 (100 点満点) の得点を A

期末試験 (100 点満点) の得点を B

レポート課題点 (30 点満点) を C

とします。

ただし、レポート課題点は減点法で採点します。未提出課題 (-10 点)、提出期限遅れ (-1 点) とし、負の得点にはならないこととします。

中間成績評価点 = $A \times 0.7 + C$

期末成績評価点 = $(A + 2 \times B) \div 3 \times 0.7 + C$

各成績評価点につき、95 点以上 S 評価、80 点以上 A 評価、70 点以上 B 評価、60 点以上 C 評価、60 点未満 D 評価（単位修得不可）と評価します。

試験持ち点回復試験（再試験）を行うこともありますが、定期試験までにレポート課題が提出されていること、試験得点 40 点以上の 2 つを満たしている場合に事件資格を与えます。ただし、得点回復は 60 点以上にはなりません。

レポート例

ファイル名(半角)

ユーザ ID 出席番号(半角) 名前

1. 課題

H8CPU のアセンブリ言語を用いて・・・

2. 使用したプログラム

3. (調べたことなど、この付近の章建ては自分で考える)

4. 考察

実際にやってみて気付いたことなど

実際にやった人だけが書くことのできる内容とすること。

5. まとめ

課題を通じてなにがわかったのか。なにがその課題で修得すべき狙いなのか。